

日本
サイエンス
コミュニ
ケーション
協会

第六回 年会

共催：
ふじのくに地球環境史
ミュージアム、
静岡科学館る・く・る

2017.
12.9-10

会場：
ふじのくに
地球
環境史
ミュージアム

テーマ：地域・分野・領域に対応する
サイエンスコミュニケーションと自然共生

サイエンスコミュニケーションでの様々な実践活動では地域・分野・領域によって共通する課題もありますが、実際に現場で抱えている課題は様々です。この機会に、自然共生を考えながら、様々な地域・分野・領域での実践の現場からの声に耳を傾け、サイエンスコミュニケーション活動の問題意識を共有、共考したいと思います。

サイエンスコミュニケーションに興味のある方は、会員でなくてもぜひご参加ください！

参加登録：～2017年12月4日

発表申込み：～2017年11月17日（口頭またはポスター発表、ワークショップ）

日本サイエンスコミュニケーション協会 第六回年会

一般社団法人 日本サイエンスコミュニケーション協会 (JASC) は、サイエンスコミュニケーションを促進することにより、社会全体のサイエンスリテラシーを高め、人々が科学技術をめぐる問題に主体的に関与していく社会の実現に貢献することを目的として設立されました。

本協会の目的を効果的に推進するため、全国の広範な仲間との交流を通じて情報や理念を共有し、協働して課題を解決していくことを目的に年会を開催します。

サイエンスコミュニケーションに関心のある方はどなたでも参加いただけます。多くのご参加をお待ちしています。

○開催日時 2017年12月9日（土）、10日（日）

○プログラム

12月9日（土）プレ企画

14:00～16:00 ふじのくに地球環境史ミュージアム 見学会

17:30～19:00 静岡科学館る・く・る 8階にて

講演会「世界文化遺産と富士山の自然」（静岡大学客員教授 増澤武弘氏）

（講演会会場へは、科学館閉館後、17:20～17:30の10分間の間に1階入り口より入館してください。）

事前に科学館を見学される方も閉館時に一度退館し、1階入り口より再度入館してください。）

19:30～21:30 懇親会 ホテルシティオ静岡2階「Neil(ニール)」

12月10日（日）年会

10:00～ 受付

10:40～ 開会 口頭発表

12:30～ ランチをとりながら全体会

13:30～ ポスター発表、ワークショップ、閉会式など

16:00 閉会

○会場

12月9日（土）プレ企画・見学会 / 12月10日（日）年会

ふじのくに地球環境史ミュージアム（〒422-8017 静岡県静岡市駿河区大谷5762）

<https://www.fujimu100.jp/> （プレ企画・見学会のみ参加の方は入館料200円が必要）

JASC 第六回年会ウェブサイト
QRコード



12月9日（土）プレ企画・講演会

静岡科学館る・く・る（〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町14番25号 エスパティオ8～10階）

<https://www.rukuru.jp/> （プレ企画・講演会のみ参加の方は入館料無料）

○参加登録 参加登録は下記アドレスまたは右上のQRコードのJASC第六回年会ウェブサイトから行ってください。

参加登録期間 ～12月4日（月）

発表申込み期間 ～11月17日（金）／発表予稿原稿提出 ～11月25日（土）

参加登録費は右下表の通りです。該当する金額を12月4日までに下記口座にお振込みください。

事前申込みをされてもお振込みが無い場合には、当日参加の参加登録費を現地でお支払ください。

なお、懇親会会費4,000円（学生2,000円）別途会場にて徴収します。

参加登録費振込口座

三菱東京UFJ銀行 三鷹支店

普通口座 0156830

シヤ) ニホンサイエンスコミュニケーションキヨウカイ

*なお、年会参加費の振込の際は、氏名の前に"AN"を付けて下さい。

登録種別	事前参加登録～12/4（月）		当日参加登録 12/10（日） 昼食なし	
	昼食（弁当）			
	あり	なし		
会員	2,000円	1,500円	2,500円	
学生会員	500円	なし	1,000円	
非会員	3,000円	2,500円	3,500円	
学生非会員	1,500円	1,000円	2,000円	

年会についての情報は下記のJASCホームページ内やFacebook等で随時アナウンスしていくので、ご覧ください。

JASC 第六回年会ウェブサイト

<https://www.sciencecommunication.jp/event/annual/20171210/>

お問い合わせ：日本サイエンスコミュニケーション協会 年会実行委員会 annual@sciencecommunication.jp